

令和7年度 第4回小糸・清和地区公民館運営審議会 会議次第

日時 令和8年2月26日(木)

午後3時00分～

場所 小糸公民館 講義室

1 開会

2 委員長あいさつ

3 報告

(1) 公民館、地域交流センターの開館時間、休館日等の見直しについて

4 議題

(1) 令和8年「20歳のつどい」について

(2) 令和7年度事業総括

5 その他(事務連絡)

6 閉会

## 公民館、地域交流センターの閉館時間、休館日等の見直しについて

公民館、地域交流センターは、社会情勢や財政状況等の変化により、効率的な施設運営を図るべく、閉館時間の短縮、休館日等の見直しについて検討を進めてまいりました。

各審議会委員の皆様や利用者懇談会にて利用者の方々からいただきました意見等を踏まえ、夜間の利用状況や経費面等を考慮し、見直しの結果を以下のとおりまとめましたので、ご報告いたします。

なお、見直しに伴う関係条例の改正について、現在、議会等で審議いただいているところでございます。

### 1 見直しの内容

- (1) 公民館、地域交流センターの閉館時間（月曜日から土曜日）を21時とする。（参考：現在は22時閉館）
- (2) 週1日休館日を置く。（月曜日または火曜日）
  - ・月曜日休館：周西、八重原、周南、清和、小櫃公民館
  - ・火曜日休館：君津中央（含：貞元分館）、小糸、上総公民館※松丘、亀山分館は、松丘、亀山コミュニティセンターに準ずる。
- (3) 夜間の利用がない日は夜間閉館とする。  
（参考：令和6年度平均約50日）

### 2 実施時期

令和8年10月1日

（3月議会にて議決後に速やかに周知を実施する）

## 令和8年「20歳のつどい」実施報告

1 趣 旨 人生の節目を迎える20歳の青年の門出をともに祝い励ます行事を通じて、青年が大人になった自覚を持つことのできる機会ならびに地域の人々との交流を深める機会を提供し、もって青年教育の推進と地域の活性化を図る。

2 日 時 令和8年1月11日（日）14時～15時30分

3 参加人数 ・20歳の対象者 64名（旧小糸中卒：49名 旧清和中卒：15名）  
※周東中学校区の参加率85%

・来賓及び参列者 約80名

【内訳】来賓8名、主催者3名、保護者約70名

4 会 場 周東中学校 体育館

### 5 内 容

#### 式典の部【司会・進行：実行委員2名】

- (1) 開会のことば【実行委員】
- (2) 国歌斉唱 【ピアノ伴奏：実行委員】
- (3) 君津市民歌斉唱【ピアノ伴奏：実行委員】
- (4) 市長メッセージ
- (5) 祝辞 市議会
- (6) 来賓紹介【実行委員】  
市議会議員・自治会連絡協議会・社会教育委員・  
公民館運営審議会委員・小中学校の恩師等
- (7) 祝電披露【実行委員】
- (8) 20歳出席者自己紹介

- (9) 20歳のメッセージ  
【実行委員・実行委員長】
- (10) 実行委員紹介【実行委員】
- (11) 閉会のことば【実行委員】

～集合写真撮影～

#### 交流の部

20歳のビンゴ

### 6 その他

- (1) 実行委員会：顔合わせを含め実行委員会を7回実施（総計15.5時間）
- (2) 記念品：記念写真（希望者による実費負担）※35名が購入
- (3) 掲載媒体：小糸公民館だより258号、館報「せいわ」398号、広報きみつ2月号

### 7 事業総括 - 成果と課題 -

#### 【成果】

- ・両地区の文化祭の準備、出店、片付けに実行委員が積極的に参加し、行事を盛り上げたことで、20歳の若者たちの成人としての存在感を地域へ示すことができた。
- ・20歳の対象者の1人ひとりにスポットが当たる工夫として、20歳出席者自己紹介を取り入れたことは、ご家族や来賓に好評であり、参加者各々の成長した姿を見せることができた。

#### 【課題、次年度へ向けて】

- ・受付を実行委員にお願いしているが、式典が始まるとその場を離れる必要があるため、後輩や地域の人に依頼するなど担い手の工夫が必要。
- ・今年度は会場での履物の扱いについて、急な変更があり、多方面に影響があったため、次年度は早い段階で学校との調整が必要。

# 令和7年度事業総括:令和8年1月以降の実施事業について【小糸公民館】

## 1. 小糸公民館だより「こいと」発行事業

### (1) 実施目的

公民館活動や地域活動等の周知を図るために、公民館だよりを発行し、地域の情報発信基地としての充実を図る。

### (2) 発行日・内容

号数	発行日	特集・掲載内容等
256号	R7. 6/19	小糸小運動会・周東中部活動紹介、小糸公民館事業計画
257号	R7. 9/18	夏の公民館イベント、自治会主催の事業紹介
258号	R8. 1/22	新成人の紹介や「20才の抱負・コメント」掲載
259号	R8. 3/19 (予定)	小学校・中学校新1年生による希望のメッセージ

(3) 発行部数：各回2,800部

(4) 配付対象：・小糸地区の全世帯のうち、自治会加入世帯に配付。  
・小糸管内の保育園／小中学校／その他配架協力施設（生きがい支援センター／小糸郵便局／コイトコーヒー／鎌田歯科ほか17箇所）

(5) 備考：地域住民5名による編集委員会で、企画・取材・紙面を構成。

### (6) 成果・今後へ向けて

- ・今年度から2名の新編集委員を迎え新体制となったことにより、紙面に登場する人の世代や地域の拡大につながり、紙面の充実を図ることができた。
- ・社会状況の変化（ペーパーレス化）を背景に、次年度以降の発行部数や回数の見直しが行われている。公民館の情報発信のあり方について、今後検討する必要がある。

※以下は今後実施予定事業のため、報告資料は当日（2月26日）配付いたします。※

## 2. 地域子育て支援拠点事業 夜Cafe

### 「子どもの心を伸ばすには～名将からのメッセージ」

#### (1) 目的・内容

- ・思春期を迎える子との関わり方に不安や悩みを抱えている方が、講話を通して学びを深め、新たな気づきを得る機会とする。
- ・近年、共働きの家庭が増加し、子の成長とともに公民館活動への参加が減少傾向にあるため、夜間に実施することで新たな人間関係を築くことを目指す。

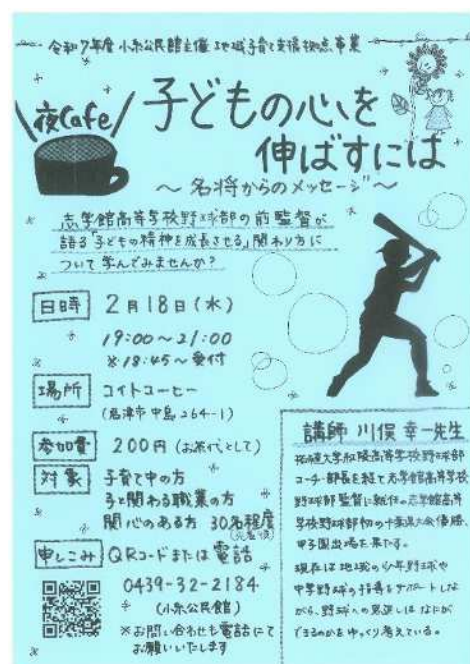
(2) 実施予定日：2月18日（水）19時～21時

(3) 会場：コイトコーヒー

(4) 講師：川俣 幸一氏

（前 志学館高等部硬式野球部監督）

(5) 対象：子育て中の方、子と関わる職業の方、関心のある方



## 1 重点取組分野

- ①「地域活性化・にぎわい創出」
- ②「高齢者のウェルビーイング」

## 2 取り組み内容

### ①「地域活性化・にぎわい創出」

#### ●じぶん時間を楽しむ講座「手打ちそば入門！～粉から始める第一歩～」

- ・6月～7月 2回実施 参加者：19名

＊サークル化に向けた特別回を2/7に実施し、サークルを立ち上げる方向となった。

#### ●地域団体と連携・共催の事業

- ・NPOいきいき清和との連携事業「体験せいわ学」通年

14回中12回実施 延べ参加者数：254名

- ・コミュニティ清和委託・連携事業「3Dプリンタ入門講座」

8月～10月 4回実施 参加者：12名

＊おらがデジファ部の立ち上げ⇒文化祭での作品展示・実演実施

#### ●地域活性化センター事業

- ・各種委託事業や関連支援事業（清和の暮らしとシゴトづくり実践事業、サイクリストなど立寄り拠点強化事業、地域魅力発信マップ作成事業ほか）

- ・ふもとの茶屋 4月～12月 162回 協力事業者13団体

- ・買い物支援事業 6月～3月毎週木曜日

- ・里山でリトリート 2回 参加者9名

### ②「高齢者のウェルビーイング」

#### ●高齢者いきがい支援事業

- ・大人の学校 おらがわサロン 7月～3月 6回中4回実施

（うち11/19 グラウンドゴルフ、2/15 ふれあいコンサート、3/5 モルック大会は多世代交流）

- ・出前サロン シニアクラブ（3/9）、鹿野山（調整中）で実施予定

#### ●おやこびと広場 たき火交流会

6月、11月、2月 2回実施 参加者55名

#### ●その他 多世代交流関係

9/13 みんなの秋まつり～清和の夕べ～

1/10 ちびっこ大会



清和小学校での多世代交流グラウンドゴルフ

### 3 成果と課題・今後に向けて

#### 〔成果〕

##### ①「地域活性化・にぎわい創出」

昨年度の主催事業や各種活動でできたつながりから、新たな団体が生まれ、新規団体による「地区文化祭」、「秋まつり」、「ふもとの茶屋」等への参加が増加したほか、今年度実施の「じぶん時間を楽しむ講座」と「3Dプリンタ入門講座」からも新たなサークルが誕生し、地域の関係人口の増加や地域の活性化に寄与することができた。

##### ②「高齢者のウェルビーイング」

フレイル予防等高齢者特有の課題に関する講座のほか、多世代交流の機会を多く設けることで、シニア世代の活躍の場をつくることができた。



おらがわデジファ部による文化祭での実演。



手打ちそば入門をテーマとした「じぶん時間を楽しむ講座」



シニアクラブ「モルック大会」へのサポート

#### 〔課題〕

##### ①「地域活性化・にぎわい創出」

- ・公民館事業と市民センター、清和こども園、コミュニティ清和等地域団体による活動が有機的に結びつき、成果につながるような事業のあり方を検討し、相互のコミュニケーションの機会を意識的につくりながら進めていく必要がある。

##### ②「高齢者のウェルビーイング」

- ・予算や職員数の削減の中で、どこに焦点を絞って取り組むべきか、関連地域団体とも協議しながら再度検討が必要。

### 4 その他事項

- ・10/11-12 ヨハクタビの支援 企画の総合リーチ数 1.7万人 参加者 9名
- ・コワーキングスペース利用登録者数 161名 (2/6 現在)  
今年度利用者数 376名 (12月末現在)
- ・公民館利用者数 16,687名 (12月末現在)



ヨハクタビの鹿野山麒麟ハウスでの交流

## 地域子育て支援拠点事業

### 「夜Cafe『子どもの心を伸ばすには』～名将からのメッセージ～」

**趣 旨：**思春期を迎える子どもとのかかわり方に不安や悩みを抱えている方が講話を通して学びを深め、新たな気づきを得る機会とする。また、近年は共働きの家庭が増加し、子どもの成長と共に公民館活動への参加が減少傾向にあるため、夜の時間帯に開催し、新たな人間関係を築くことを目指す。併せて、小・中・高校生のプレイルーム利用について知ってもらうことで利用者層の拡大を目指す。

**実施日：**2月18日（水）午後7時～午後9時

**会 場：**コイトコーヒー

**内 容：**講話

**講 師：**川俣 幸一 氏（前 志学館高等部硬式野球部監督）

**協 力：**コイトコーヒー店主 大野 睦 氏（会場提供、コーヒー・紅茶提供）

**参加者：**34名（当日欠席3名、キャンセル待ち10名）

#### 【成果】

- ・40年以上にわたり、体育科教員として、また野球指導者として経験されてきた理論に基づく実践事例を軸とした講話には説得力があり、参加者からも大変好評で今後の開催を望む声が多数あがった。
- ・地域のカフェで夜開催とすることで、日ごろ公民館活動にかかわりの少ない働き世代の男性にも多く参加いただくなど、幅広い方が思春期を中心とした子どもとのかかわりについて考える貴重な機会となった。

#### 【課題・今後に向けて】

- ・プレイルームの利用対象が18歳までであることを踏まえ、中高生の保護者に向けた夜開催の事業として、昨年度に続き2回目の実施となった。アンケートからも8割を超える方が平日夜間の事業を希望しているため、今後も取り組んでいきたい。
- ・地域で活躍する方を講師に招き、地元のカフェに協力いただくことで、新たな人間関係を築くことにつながっている。特に今回はキャンセル待ちが10名と、ニーズの高さが伺えたことから、今後の事業展開に生かしていきたい。



【感想（一部抜粋）】

- ・川俣先生は監督の経験から得た、子どもたちに願望を持たせる方法や言葉かけ、脳のメカニズムなど、難しいことも丁寧に説明してくださり、失敗もあったと仰り、親しみやすいお話でした。右脳に悪いイメージがプリントされたら、また新しいプリントを作る、馬から落ちたらまた乗る、という言葉が印象的で、成功体験をインプットすることの大切さを知るとともに、そこに導く周りの人、家族や指導者の寄り添いも大切な役割だと感じました。そして子育ては学生のうちに終わるものでもないもので、つまづいた時のヒントもいただきました。周りの人に喜んでもらえることができる人になりたいと思いました。私に野球ができる息子がいたとしたら、川俣先生にお預けしたかったです。
- ・時間が足りなく感じて、まだまだ聞いていたかったです。大人の意識を変えるお話なので、子どもが小さい保護者が聞いてもいいように思いました。そして講師が謙虚で、素晴らしいと思いました。見習いたいです。
- ・大変勉強になりました。自分がやるべきことがわかった気がします。
- ・人として相手や自分自身を信じる心がいかに大切かを胸に刻むことができました。今、中学生や保護者と関わる仕事をしています。教えていただいたこと、川俣先生の真摯な生き方を今後の私のあり方に活かしていきたいです。貴重なご講演ありがとうございました。
- ・川俣先生、胸に響くお話をありがとうございます。子どもの心に本気で向き合われ、「夢」と「自信」を育ててこられた事例の数々に感銘を受けました。老若男女が熱心に耳を傾ける有意義なひとときでした。参加者一人ひとりの質問にも、力が湧いてくるような温かい言葉をくださる川俣先生の人間性に強く惹かれています。ぜひ、第二弾をお願いします！
- ・これからの子育ての心構えになればと思い参加させていただきました。大変分かりやすいお話で、子の親としてだけでなく、自分自身にとっても刺激を頂きました。
- ・子に大きな夢を持たせるというのは親の大事な役割のひとつなのだと感じました。子どもと同じ夢に向かって走れるような親子関係を築きたいと思いました。
- ・子どもの心を伸ばす具体的な話は愛に溢れた、説得力のあるものでした。このような魅力的な話を地域の方と一緒に共有できたことがとても良かったです。
- ・あっという間の2時間でした。子どもの会話で、使ってはいけない言葉全てに当てはまり反省しています。子どもにも聞いて欲しいお話でした。ありがとうございました。
- ・とてもわかりやすく、先生の経験を交えてお話し聴けてよかったです。子育てへのヒントになり、また、楽しい良い時間を過ごすことが出来ました。
- ・大変勉強になりました。話し方一つで、子どもの成長に多大な影響があることを、再認識しました。日々言葉には留意したいものです。
- ・非常に説得力のあるお話で大変良い内容でした。参加してよかったです。